



市長だより

vol.5



東日本大震災から10年。あの時の教訓は
今に活かしているのでしょうか。活かしていると
私は思います。

新型コロナウイルス感染症が世界中に蔓延
する中、社会活動を封鎖せずに済んでいるのは、関係機関の努力はもちろん、一人一人が
自ら「新しい生活様式」を守っているからです。
たとえ罹患者があっても中傷などを封じ
込める気運が感じられます。自衛にとどまら
ず、家族や友人など大切な人を思いやり守ろう
とする気持ちがそうさせていると感じます。
そして、親しい人とつながりたない日々を耐えて
いるのは、一日も早く再会したいと強く望んでいる
からです。

あの時、災害の中で、命、家族、思いやり、助け合い、
絆など、多くの大切なことを学びました。だからこそ
今があると思います。皆さんの努力を無駄にしない
ために、一刻も早く光明を見出せるよう、
尽力いたします。 角田市長 黒須 貫